

砺波総合病院から



市立砺波総合病院
☎32-3320

病院のホームページもご覧ください。

富山県新型インフルエンザ対策実地訓練を行いました

平成24年11月30日、小雨が降る中「富山県新型インフルエンザ対策実地訓練」が市立砺波総合病院で行われました。当日は県内の公的病院・医師会等医療機関・市町村・県厚生センター、消防関係者、海外出張のある企業などから総勢90名弱の見学参加もありました。

この訓練は、新型インフルエンザに機動的かつ的確に対応できる体制の整備を図るため、鳥由来の病原性の高い新型インフルエンザの県内発生早期を想定し、感染症指定医療機関における患者受け入れ対応について、医療機関と関係機関が合同で行うものです。

今回は、「国外発生から約1カ月後、国内発生から1週間後」の想定で、5つのステージを設定し、訓練を実施しました。その内容を紹介します。

第1ステージ

新型インフルエンザが流行している国からの帰国後、突然の発熱やのどの痛みなどインフルエンザ症状がある帰国者に対して、富山県砺波厚生センター内に設置されている「帰国者・接触者相談センター」が電話相談を行います。

第2ステージ

相談の内容から、新型インフルエンザの疑いがあると判断した「帰国者・接触者相談センター」は「第一種感染症指定医療機関」である市立砺波総合病院に次により受け入れ依頼の連絡を行います。

①相談内容から重症と判断した「帰国者・接触者相談センター」は、砺波地域消防本部に連絡を行い患者搬送の依頼を行います。

※「119」番通報は、改めて患者さんが行います。

②「帰国者・接触者相談センター」から連絡を受けた市立砺波総合病院院内感染対策室では、院内関係部署への連絡と「帰国者・接触者外来」（砺波医療圏急患センター前）の移動準備を行います。

第3ステージ

救急車で搬送された患者さんを「帰国者・接触者外来」で、診察しインフルエンザ迅速診断検査など必要な検査を行います。

第4ステージ

入院が必要となった患者さんを「帰国者・接触者外来」から陰圧設備のある感染症病



救急隊



床に搬送し、入院後の対応を行います。

第5ステージ

入院処置を終えた看護師の防護具の脱衣訓練を行います。

新型インフルエンザの場合、飛沫感染・接触感染・空気感染の3つの感染対策のため、直接患者さんに接する医師や看護師、救急隊員などは、N95マスク・手袋・ゴーグル・ガウン・シューズカバーなど个人防护具を着用し治療やケアなどを行います。



个人防护具

自分自身、ウイルスの曝露を受けないように个人防护具を確実に着用し、安全に脱衣することが重要になります。

また、第5ステージ終了後に、見学者の皆さんにも个人防护具の着脱訓練を一緒に行っていただきました。



参加者の様子（个人防护具着脱訓練）

以上、訓練の概要を紹介しましたが、今回の訓練で、関係機関相互の連絡体制、患者受入手順、个人防护具の着脱手順の確認など行うことができました。しかし、新型インフルエンザの流行は突然やってくる。そのような時にも訓練からの学びを生かし、院内外と連携しながら、平時と同様に診療を行うことができる様に努めていきたいと思えます。

感染性胃腸炎・季節性インフルエンザにご注意ください

これからの季節、感染性胃腸炎や季節性インフルエンザの流行期になります。次のことにご留意ください。

- ▶手をよく洗う。
- ▶せきが出る時はマスクを着用する。
- ▶外から帰った時うがいをする。 など

ひとりひとりが「感染を持ち込まない！ 広めない！ 持ち帰らない！」感染対策を行いましょう。